

事業番号	13 01 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	水道事業（末端給水事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課			
		実施期間	S38 ～	E-mail	kigyo @ pref.nagano.lg.jp			

1 現状と課題

・人口減少に伴う水需要の減少（給水人口 41%減 有収水量 34%減（2020年/2070年））
・施設の老朽化(法定耐用年数超過管路率 11%)の進行
・将来にわたり安心・安全な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成及び広域連携の強化が必要

2 事業目的

・お客様に安心・安全な水道水を安定的に届けるため、アセットマネジメントを活用して施設設備の計画的な更新等を実施
・近年頻発する大規模災害等に対応して基幹管路の耐震化を実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化
・水道の基盤強化を図り、水道事業の持続可能な経営体制を構築するため、広域化・広域連携等の取組を推進

3 事業目的を達成するための取組

① 未来への投資
・施設設備の老朽化対策・耐震化の計画的な推進
・水道施設のダウンサイジング検討・実施
② 先端技術の大胆な活用・リスクマネジメント
・「安心の蛇口」の整備（3か所）
・危機管理体制の整備（防災訓練の実施、受援体制整備等）
③ 地域への貢献・地域との連携
・持続可能な水道事業確立のため広域化を推進
・小規模市町村職員の技術力向上支援
・配管、漏水修繕、漏水探知等の技術研修のための簡易研修施設の活用

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①-1	老朽管残存率	%	0.0	0.6	↘	0.9	↘	0.0	未達成	アセットマネジメントによる計画的更新。 長寿命化工事の実施により、老朽管を生じさせない。
①-2	基幹管路の耐震適合率	%	97.9	98.4	↗	100.0	↗	100.0	達成	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、基幹管路（送水管及び 口径200mm以上の配水管）316.5kmの耐震化を行う。
②	「安心の蛇口」の整備数（累 計）	基	15	17	↗	20	↗	20	達成	重要給水施設（全43か所）のうち、避難所となる学校等の施 設（20か所）に「安心の蛇口」を整備する。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-3④	社会的なインフラの維持・発展	水道の広域連携を実施する圏域数	圏域	2023 (R5)	0	2024 (R6)	0	2025 (R7)	0	2027 (R9)	9

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	682,014	7,980,055	44,895	8,706,964	0	7,674,891	45.0
R6年度	840,496	7,795,315	153,980	8,789,791	0	7,651,975	46.0
R5年度	767,729	7,782,549	△ 17,643	8,532,635	0	7,254,062	45.0

事業番号	13 01 02	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	水道事業（末端給水事業）			部局	企業局	課・室	水道事業課	

7 主な取組実績と成果

① 未来への投資

- ・小島1工区 配水管布設替工事他 基幹管路耐震化更新延長 1.7km
- ・上田地区 岳ノ尾工区送水管布設替工事 塩化ビニル管更新延長 0.6km
- ・諏訪形浄水場 次亜注入設備更新工事他

② 先端技術の大胆な活用・リスクマネジメント

- ・災害時の避難所等における応急給水拠点「安心の蛇口」を新たに3箇所整備
御厨公園（長野市） 五加小学校（千曲市） 上山田中央公園（千曲市）
計3箇所

③ 地域への貢献・地域との連携

- ・上田長野地域水道事業広域化協議会の開催（計2回）
- ・水道事業実務研修会の開催（計4回）
- ・漏水調査機器の貸出（1町1村）による市町村支援
- ・技術研修のための簡易研修施設の整備・活用



8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①-1	老朽管残存率	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
昨今の資材高騰等を受け目標を達成できなかったが、計画的な更新により老朽管残存率は低い水準に抑えることができています。							
指標①-2	基幹管路の耐震適合率	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
計画的な布設替工事により目標を達成した。							
指標②	「安心の蛇口」の整備数（累計）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
計画的な整備により目標を達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

経営戦略策定時と比べ、資材・人件費が高騰しており、工事にかかるコストが増大し、収益の減少による経営への影響が懸念される。

(2) 事業改善の方策

- ・安定的な水道水の供給が行えるよう、老朽化対策、耐震化工事等の実施に当たっては、整備の優先順位付け、投資額の平準化に配慮しながら更新計画の見直しを図っていく。
- ・広域化協議会において、事業計画（案）の検討など、広域化に向けた具体的な事項の検討を関係市町と連携して行っていく。

事業番号	13 01 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	水道事業（末端給水事業）			部局	企業局	課・室	水道事業課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	水道事業（末端給水事業）		7,254,062 千円	7,651,975 千円	7,674,891 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	施設設備の老朽化対策等の加速	直接 委託	安心・安全な水道水を安定的に届けるため、施設設備の老朽化対策、耐震化を計画的に推進 塩化ビニル管布設替 L（延長）＝ 0.6 km		
2	リスクマネジメントの推進	直接 委託	大規模災害等に備え、応急給水施設「安心の蛇口」を整備 「安心の蛇口」の整備 3か所		
3	水道事業の広域化等の推進	直接 委託	持続可能な水道事業確立のため広域化を推進 上田長野地域水道事業広域化に係る協議 2回		